

近畿本部 経営工学部会 2022年2月度定例部会および研修会議事録

日時 2022年2月19日(土) 13:30~15:40

場所 ZOOMを使用したWEB開催

出席者 35名

配布資料 ①研修会議事進行表、②経営工学部会出席者名簿、③研修会資料、
④入室時の操作、発言方法、トラブル相談窓口、⑤技術士全国大会(奈良・関西)、
⑥CPD行事参加票

司会進行 担当幹事 北川技術士、美馬技術士

1. 開会挨拶(荒井部会長)

- (1)オミクロン株、海底火山、日本の地震、ウクライナの緊張、北京オリンピック審判、ドーピング問題、価格高騰、部品の入手困難、様々の好ましくない状況があります。そのような中でも、近畿本部の活動は粛々と実施されており、オンライン会議の活用が事実上定着しています。
- (2)部会員専門アンケートは、40名を超える回答をいただきました。回答されていない方は、気軽に回答をお願いできればと思います。

2. 講演

- ・演題: 企業内と中小企業支援におけるIE的活動について
- ・講師: 田村豊 技術士(経営工学) 田村IE技術事務所
- ・概要: 企業在職中に取り組み、労働原単位をベースにした製造設備のミニマム要員管理、間接業務の効率化活動、タブレット用IE観測ソフトの製作を紹介頂いた。中小企業の生産性向上支援を行っていただけますが、企業が望む支援内容の傾向と、その中で5S活動、稼働分析による能率向上、エクセルレベルの生産管理業務改善について、紹介頂いた。



田村豊 (田村IE技術事務所...)

基本理念 全員参加で、常に新しい課題に挑戦し
いつまでも継続する活動を目指す!

- G K活動：業務効率化活動**
間接部門の業務効率化をペーパーレス化、IT化を通じて推進
- J K活動：自主管理改善活動**
職場の小集団による自主的な改善活動
- M K活動：見える化で改革活動**
製品、半製品、貯蔵品等の資産圧縮を見える化で推進
- S K活動：生産性向上活動**
階層別に研修、テーマ研究を通じて生産性向上を推進
- Y K活動：要員効率化活動**
標準時間管理と要員の機動化による要員効率化の推進

2. 具体的な支援内容

支援項目	支援内容
5 S活動の展開	活動の推進体制・目的・運営方法・スケジュールを具体的に支援。戦略的5 Sの取組みを提言。
機械と人の稼働分析	撮影した映像から機械と人の稼働分析を行い、ムダの顕在化、稼働率向上、作業の標準化案を提言。
動画マニュアル作成	パワーポイントで、動画マニュアルを作成する方法とメリットを、実際に動画を撮影して作成し示す。
工程間在庫の適正化	工程間の在庫を流動数曲線等で分析し、計画面で最低在庫を管理する仕組みを提言。
生産管理業務の効率化	手作業や一部EXCELで行っている見積作業や計画作り、実績集計作業を業務プロセスを分析した上で、EXCELで運営する仕組みを支援。
小集団活動の支援	QCサークル活動等の小集団活動のすすめ方を、1日研修会と実際のテーマでの支援。
その他支援: IoT技術の活用、技能伝承の運営方法改善技術の研修、なぜなぜ分析のすすめ方	

・質疑応答: Q)質問、A)回答

- Q)(1)事業所長様を担ぎ出すことの苦勞・成功例を教えてください。(2)中小企業の支援についてPL及びBSの切口で、支援をされますか。(妹尾技術士)
- A)(1)事務局がやる気をもって誠心誠意やるのが事業所長を巻き込むのに必要だと思います。(2)PL及びBSの支援をしているコンサルタントは多く、そこは被らないように、支援はしていません。
- Q)中小企業の支援時、予算が少ない場合、どのようにアプローチをされるか、ノウハウがあれば教えてください。(神原技術士)
- A) 予算を取るところまでの支援はしていません。県が補助金を出している場合があります、それらを活用する方法もあります。
- Q) 20世紀初頭のテイラーの科学的管理法とメイヤーの人間関係論の両輪の生産性向上策は、現代のSDGs-Society5.0の時代においても通用するのでしょうか。(村田技術士)
- A) テイラー、メイヤーの理論、理屈は不変だと思います。標準時間の考え方は重要だと思います。ただ、実現するアプローチは、時代と共に姿を変えています。
- Q) 営業、商社(顧客)間との情報共有に関して、苦勞話等あればお願いします。(荒井技術士)
- A) 商社が中間在庫を持っている場合、倉庫の過不足情報を共有したことはあります。
- Q) 会議のペーパーレス化の話をお聞きしましたが、会議の時間短縮や会議そのものを減らすなどの改善事例はありますか。(藤原技術士)

- A) 帳票類、報告書を作成する目的を考え直してもらいました。報告書が無くなると、会議が無くなる事例はありました。Docuworks で、異なったソフトで作成した書類を一つにまとめておくと会議時間短縮になりました。
- Q) 間接部門で不要な仕事の見直しは、IE 視点からどのように推奨されていますか。(新居技術士)
- A) 間接部門も要員算定は出来るはずで、すべての業務は基本的なことの積み上げなので、研究をしてみたいと思います。
- Q) 無いものを出すアイデアの時間をどう見ますか。(新居技術士)
- A) 設計も、前に作ったもののモディファイで、その組み合わせが大部分を占めます。かなりの部分を標準化できるのではと考えています。

[定例部会]

3. 部会活動報告及び諸連絡事項など

(1) 技術士会関係活動実績

- 1/16(日) 第15回災害対策セミナー(神戸国際会館)
- 1/22(土) 近畿本部 新春講演会(アクセア本町+Web)
- 2/2(水) 協賛団体特別セミナー
- 2/5(土) 第41回地域産学官合同セミナー(大阪科学技術センター+Web)

(2) 部会運営について

- ① 部会員 専門領域アンケートの集計結果
- ② 今後の運営計画

部会+研修会	日程	行事担当
4月度(総会)	4/16	山口/神原
6月度	6/11もしくは6/25で調整中	田代/古橋
8月度	8/20	萩野/北川

4. 今後の予定

(1) 近畿本部の主な活動予定

- 2/26(土) 近畿本部倫理シンポジウム2022 会場+Web
「組織(企業等)のコンプライアンスと社会的責任(CSR)」
- 4/16(土) 第1次試験 合格祝賀会(大阪科学技術センター)
- 5/28(土) 第2次試験 合格祝賀会(大阪科学技術センター)
- 6/15(水) 日本技術士会 総会
- 6/18(土) 近畿本部 年次大会(大阪科学技術センター)
- 10/28(金)~31(月)第48回 技術士全国大会 (奈良・関西)
「まほろばの国から未来社会へ! ~技術の融合と新たなイノベーション~」

(2) 近畿本部経営工学部会

- 4/16(土) 4月度 部会+研修会
- ① 倫理ディスカッション
 - 講演 日本の『食』とサステナビリティ
 - 講師 堤 浩子 技術士(生物工学部門) 月桂冠株式会社
- ② 総会

5. 自由発言、その他

- (1) 2022年 第48回 技術士全国大会(奈良・関西)広告協賛募集への協力依頼
- (2) CPD行事 新申込システムへの移行について
- (3) 経営工学部会の女性参画について

6. 閉会挨拶(担当幹事 美馬)

ミニマム要員管理では、忙しい工場、工程が洗い出され、そこに応援に行くことで、会社全体を見渡した時に、全体の負荷が平準化され、全体最適が図られると思いました。また、魅せる 5S、コスト削減、人材育成という視点で5Sの重要性を再認識しました。貴重なご講演厚く御礼申し上げます。

以上(文責:美馬恒治)